

- ▶ 文京区では、文京区地球温暖化対策地域推進計画（令和2年3月改定）におけるアクションプランの中で、「区の率先行動」の一つとして、区有施設への環境に配慮した資材等の活用を進めるとし、区有施設に木材を利用することで、二酸化炭素の排出量削減を推進してきた。また、カーボン・オフセットを導入し、区二酸化炭素排出量の削減に取り組んでいる。
- ▶ 令和4年度においては、以下の取組を実施した。
 - ・ 包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入した。
 - ・ 子育て支援施設（子育てひろば）において子どもたちが使用する国産木材の玩具を購入した。

□ 事業内容

1 国産木材玩具の購入

- ・ 子育て支援施設（子育てひろば）において子どもたちが使用する国産木材の玩具を購入した。

【事業費】721千円（うち譲与税721千円）

【実績】子育てひろば（5施設）で購入

2 オフセット・クレジット（J-VER）の購入

- ・ 本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県が販売するオフセット・クレジット（J-VER）を購入することで、区二酸化炭素排出量を削減するとともに、森林整備に係る取組を支援した。

【事業費】2,200千円（うち譲与税2,200千円）

【実績】400t相当の二酸化炭素排出量削減

□ 取組の背景

- 1 国産木材の安全性や良質さをより身近に感じてもらえるよう、子どもたちが使用する玩具を購入することとした。
- 2 森林のない文京区において、オフセット・クレジットを購入することで、ゼロカーボンに向けた取組を推進することができる。

□ 工夫・留意した点

- 1 協定を締結している島根県津和野町産木材を使用した「つみき」を購入し、その背景がわかるポスターを施設に掲示することで森林環境譲与税の周知を図った。
- 2 本区と包括連携に関する覚書を締結している熊本県から購入することで熊本県の森林整備に係る取組について支援した。

□ 取組の効果

- 1 幼少期から国産木材玩具に触れることで、都心区の子どもたちとその保護者に森林環境について考える機会を提供することができる。
- 2 二酸化炭素排出量の削減につながる実効性のある施策を率先して取り組むに当たり、カーボン・オフセットは新たなアプローチとなる。

◇ 基礎データ

①令和4年度譲与額：26,268千円	②私有林人工林面積（※1）：0.00ha
③林野率（※1）：0.00%	④人口（※2）：240,069人
	⑤林業就業者数（※2）：6人

※1：「2020農林業センサス」より、※2：「R2国勢調査」より



（事業2：事業概要（環境省HPより））



（事業1：島根県津和野町産木材の「つみき」）